

# 住民のチカラでまちをつくる

～自治基本条例制定から、市民活動へ～

市民活動支援課まちづくり推進係 ☎(63)2240

4月1日から「鹿沼市自治基本条例」が施行されました。市民の声・意見をもとに、公募委員「鹿沼市自治基本条例を考える会」が作成した、市民手づくりの条例です。条例の制定はゴールではなくスタートラインです。この条例を踏まえ、市民協働のまちづくりが行われます。

現在、自治基本条例の理念の下、実施策として行われている「まち変“ふらっと”フォーラム事業」「高校生アイデア会議」「地区モデル事業」の活動を取り上げます。



## 考えるチカラ

まち変“ふらっと”

フォーラム事業

「まちを変える人＝まち変人」による、アイデア交換と交流を実施中。誰でも参加できます。会議は参加者が発言しやすいように、和やかな雰囲気で行っています。参加者が企画立案から実行までを行うアイデア事業として、「自然エネルギー活用」「路地裏マップづくり」「カヌマ大学」などを展開していきます。

## 若いチカラ

高校生アイデア会議

条例では、鹿沼市の将来を担う「子どもたちづくりへの参加」を推進しています。市内4校を中心に生徒が集まり、高校生目線でまちづくりを考えます。アイデア提案から、企画立案、実行までを高校生自らが行います。

現在「市内4校の交流イベント」「地産地消の新メニュー開発」「まち歩き情報紙」「キャラクターづくり」の4班に分かれ、頑張っています！



まちづくりのプロが集結！  
かぬま全国まち変サミット

各地のまちづくり実践者が集まり、地域づくりのヒントを皆さんと一緒に考えます。素敵な鹿沼をつくっていきませんか？

とき 11月10日(土)

ところ 屋台のまち中央公園・屋台展示館

ほか

分科会 午後1時30分～

- 1、まちづくりファンダ
- 2、遊学のススメ
- 3、まちデザイン
- 4、自然力

ヒト・自然・エネルギー

懇親会 午後5時30分～

定員 150人

参加料 無料(懇親会参加料  
4,000円)

申込・お問い合わせ

かぬま市民活動広場からつと  
☎(60)2212

## 地域のチカラ

### 地区モデル事業

地域のことは地域で考え、課題を解決していくために、モデル地区でアイデア会議を開催しています。今年、加蘇・永野・まちなかの3地区がモデル地区。

それぞれの地域の住人が集まり、産業や自然などの地元資源の活用や、地域の活性化を目指すアイデアを出し合っています。

現在、加蘇地区では「古民家活用」「加蘇サマーフェスタ」などを実施。永野地区では「夢のあじさいロード」匠の人の講習会」などを計画中です。

## まちづくりに大切なのは 住民一人ひとりの意識



井上 玉枝さん(上野町)

Profile ●いのうえ たまえ

「自治基本条例を考える会」で委員を経験後、「まち変」の運営を担当

条例作りでは意見交換会やアンケートを行い、市民が日ごろ思っていることを取り入れるよう心掛けました。このときのような、「自由に発言できる場をもっと続けていきたい」という思いから「まち変」は始まっています。

「まち変」には、さまざまな職業や年齢の人たちが集まります。参加者から「普段知り合えない人とのつながりが、たくさんできた」という声も聞きます。人と人とのつながりがあるまちは魅力的です。その輪は少しずつ広がっています。

今は話し合いから、実施策へと動き出すとき。企画で終わらせず実行へ、そしてそれを持続させるにはどうすればいいかと、壁にぶつかりながら考えています。一人ひとりがまちづくりへの意識を高め、考え、試行錯誤していくことが大切だと思います。

## 住民のアイデアから生まれた 加蘇サマーフェスタ



8月15日に開催された加蘇サマーフェスタ

モデル地区の一つ、加蘇地区では、地区アイデア会議「加蘇アイ」を行っています。そこで「地域全体が参加できる盆踊り」として企画されたのが、「加蘇サマーフェスタ」でした。

会議に参加した、地元の消防団を中心とした若手グループが企画。自治会などの協力を得て、運営までを担いました。

今回地域の活性化が、地元の若者の手で行われました。今後、このような取り組みが各地区に広がることで、住民のチカラによるまちづくりが実現していきます。